

平成30年 第8回(定例会)

厚真町教育委員会会議録

1 開会

平成30年6月28日(木)午後2時30分

2 閉会

平成30年6月28日(木)午後5時14分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 伴 俊行 金光 えり 長門 茂明

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 伊藤 文彦 生涯学習課参事 木戸 達也

【書記】学校教育G主査 田中 紀嘉

5 会議録署名委員の指名

(伴 俊行)

(長門 茂明)

6 教育長報告

(1) 行事参加等の動向 (資料1)

(2) 第2回厚真町議会定例会 (資料2)

- ・一般質問
- ・財産の取得
- ・平成30年度一般会計補正予算

【質疑】

遠藤教育長 : 放課後児童クラブ建設における今後のスケジュールを報告願う。

伊藤課長 : 明日入札を予定している。7月9日の臨時会で契約議決の承認をいただく。その後着工して、年内工期で完成を目指す。備品等は補正予算で対応を考えている。

7 所管報告

(1) 厚真町英語教育推進委員会第1回連携部会(6月1日開催)について (資料3)

(2) 厚真町英語教育推進委員会第2回連携部会(6月26日開催)について

(資料3-1)

- (3) 厚真町学校給食センター運営委員会（6月4日開催）について (資料4)
- (4) 厚真町学校給食センター運営委員会学校給食献立会議（6月4日開催）について (資料5)
- (5) 厚真町学校給食における食物アレルギー対応委員会（6月4日開催）について (資料6)
- (6) 第1回厚真町学力向上推進委員会（6月5日開催）について (資料7)
- (7) 第3回厚真町小中一貫教育推進委員会（6月5日開催）について (資料8)
- (8) 中学生海外派遣研修事業生徒・保護者・引率者合同説明会（6月11日開催）について (資料9)
- (9) 北海道厚真高等学校教育振興会総会（6月12日開催）について (資料10)
- (10) 第1回厚真町特別支援教育連携協議会（6月27日開催）について (資料10-1)
- (11) 6月の校長会議・教頭会議について (資料11)

社会教育グループ

- (1) あつまっ子ふるさと体験教室（6月3日開催）
新町堀田さん圃場にて田植え体験 小学生18人
- (2) 厚真町スポーツ推進委員会（6月8日開催）について (資料12)
- (3) 厚真町青少年健全育成委員会（6月12日開催）について (資料13)
- (4) 厚真町社会教育委員の会議（6月13日開催）について (資料14)

【質疑】

- 遠藤教育長 : 学校教育グループと社会教育グループから報告がありました。所管報告の質疑をお願いします。
- 伴委員 : 厚真町学校給食センター運営委員会についてだが、異物混入が20件あった。例年と比べてどうか。
- 木戸参事 : 毎年数件ある。委員からはこういった報告がきめ細やかにされていることもあり、信頼、安心できるとの評価をいただいた。
- 遠藤教育長 : 去年は13件ほどだった。子どもたちや教員も十分に気をつけていることもあり、異物を口に入れてしまうという事態にはなっていない。
- 伴委員 : 気になるのは、給食センターで起こっているものが半分以上あるということ。内部の問題で異物が入ってしまっているならば、これは十分気をつけなければならない。
- 木戸参事 : 今後十分に気をつけるよう心がける。
- 佐藤職務代理 : 頭巾を被っているのに、どうして髪などが入ってしまうのか。
- 木戸参事 : 入室前にエアなどもして、細心の注意を払っているがどうしてか入ってしまっている。
- 遠藤教育長 : 現状、特段の健康被害はないが、このようなことを軽減できるように取り組んでいかなければならない。

- 伴委員 : 厚真高校の予算と決算の関係で広報活動費だが、平成29年度決算額が659,664円となっている。その実績に対して、平成30年度予算額はなぜ530,000円と下がっているのか。逆に進路指導費は、なぜ予算額がこんなに上がっているのか。
- 木戸参事 : 広報活動費については、平成29年度に学校案内を大きく刷新したため例年より経費がかかった。平成30年度については、一部改訂で済むので予算が下がっている。進路指導費については、平成29年度大きく受検者が減った。だが、例年は66万円程度の実績となるので、同額程度の予算立てとした。
- 伴委員 : 通学費の補助だが、生徒数が減って通学費が増えているが通学する生徒が増えたのか。
- 木戸参事 : 平成30年度の予算要求時、定員40人の入学者で予算を見込んだ。そうしたことから、今年度は予算が余ると思われる。
- 長門委員 : 中学生海外派遣事業の説明会の保護者参加率はどの程度だったか。
- 木戸参事 : 子ども15人の参加で保護者の参加率も100%であった。
- 長門委員 : 親の不安などはあったか。
- 木戸参事 : 特に不安を訴える方はいなかった。

8 議案

議案第1号 平成30年度厚真町育英資金の貸付けについて

(資料15)

【質疑】

佐藤職務代理 : 選考基準に基づいての結果だと思うが、非該当者は二人いたのか。

遠藤教育長 : 最近是一次産業の収入も安定している。平成27年に育英資金の選考基準の見直しをした。日本学生支援機構の育英資金の貸付けの内容に準じている。昨今、育英資金の貸付けを希望する方は減ってきている。継続してPRはしっかり行っている。

9 協議事項

(1) 厚真町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について

(資料16)

【質疑】

遠藤教育長 : 「特別支援教育支援員配置事業」について何か意見等がないか。

伴委員 : 課題および改善提案のところで、採用条件の緩和という言葉を用いては質の低下と判断されてしまうので、他の言葉で表現できないか。

木戸参事 : 教員免許の取得要件が狭き門になっているのは確かである。適切な表現に修正する。

遠藤教育長 : 「コンピューター機器整備事業」について何か意見等がないか。

長門委員 : 平成30年度の予算が、平成29年度実績より多いのはメンテナンスやセキュリティの費用がかかるためか。

木戸参事 : コンピューター機器の購入については、北海道市町村備考資金組合の資金を活用しており、償還年限は5年となっている。来年度は償還額が多い時期となっている。

伴委員 : 効率性の評価だが、タブレットとしても使えるので費用対効果は高い。BではなくA
でよいと思う。

木戸参事 : Aに修正する。

遠藤教育長 : ICTに関する研修会を行っているのか。

木戸参事 : 平成28年度、29年度と行った。今年度も実施を予定している。

遠藤教育長 : 「就学援助事業」について何か意見等がないか。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長 : 「英語教育推進事業」について何か意見等がないか。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長 : 「学校給食アレルギー対応事業」について何か意見等がないか。
効率性の評価だが、きめ細かな対応ができているのであればAでもよいのではないか。

木戸参事 : Aに修正する。

遠藤教育長 : 「厚真高等学校教育振興補助事業」について何か意見等がないか。

伴委員 : 妥当性はAではないか。

遠藤教育長 : 基本的には教委が予算付けして事業を実施しているので、妥当性はAだと思う。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長 : 「放課後子ども教室開催事業」について何か意見等がないか。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長 : 「地域公民館管理事業」について何か意見等がないか。
妥当性はAとするべき。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長 : 「団体補助事業」について何か意見等がないか。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長 : 「図書整備一般管理事業」について何か意見等がないか。

金光委員 : これはあくまでも読書感想文コンクールについての評価か。小中学校の図書室の管理
や整備とは関係性はないか。

伊藤課長 : 去年は図書整備一般管理事業を評価してもらった。今回は読書感想文コンクールに特
化したものである。

伴委員 : 図書貸出し密度とは何か。

伊藤課長 : 貸出冊数割る全小学生数で表すものである。一人当たり年間何冊借りたかを図るもの
である。

遠藤教育長 : 「文化財保護収集事業」について何か意見等がないか。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長 : 「生涯スポーツ振興事業」について何か意見等がないか。

長門委員 : 有効性については、人口が減っても参加者が増えているのでAでよいのではないか。

伊藤課長 : 目標1500人に対して実績1075人であったので、有効性をBと評価した。

遠藤教育長 : 妥当性、有効性ともにAでよろしいか。

全委員 : 異議なし。

遠藤教育長 : 7月の定例教育委員会で、評価委員会の中間報告をさせてもらう。

10 その他

(1) 北海道市町村教育委員研修会の開催について

と き 7月12日(木) 午前10時20分

ところ 札幌市教育文化会館

11 次回委員会の開催日程

・7月24日(火) 午後2時30分(予定)

12 閉会

厚真町教育委員会会議規則第18条の規程により署名する

平成 年 月 日

教育長

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

生涯学習課長（調製）